

# 多文化共生ひろば

問合せ 秘書広報課 多文化共生・交流係  
(☎27-8240)

このコーナーでは、宇佐市の外国人住民や支援者、市の取り組みなどについてご紹介します。みんなが暮らしやすい多文化共生社会を作るためにまずは知ることから始めませんか。

私には、いい友達があります。趣味も夢も同じです。どんなに難しくても一緒に頑張って夢をかなえたいです。うまくいったときはお互いが満足し、失敗して落ち込んだときは支えます。笑うときは一緒に笑い、悲しいときは一緒に泣きます。

友達との共通の趣味は旅行です。これからも休みを利用していろいろな所に行きたいです。

共通の夢は、介護福祉士の資格を取ることです。仕事は大変できついこともありますが、同じ夢に向かって頑張ろうと励ましあっています。

職場の人や日本語教室の先生方、友達は家族のようです。職場の人は気長く分かるまで教えてくれるので助かります。日本のルールなど分からないことを聞いて友達と頑張っています。これからも頑張ります。



お便りをくれた方

名前 <sup>モ</sup>Moh <sup>モ</sup>Moh <sup>ウィン</sup>Win さん 国籍 ミャンマー  
職場 市内病院



心も体も  
地域も元気に！

食育レシピ  
recipe

ムリなく、ムダなく、  
備蓄食品を活用しよう！

\ check! /



問合せ / 健康課 健康増進係 (☎27-8137)

「気づいたら備蓄食品（缶詰や乾物など）の賞味期限が切れていた」なんてことはありませんか？今回は、備蓄食品をムダなく使い切るローリングストックを実践した防災レシピをご紹介します。災害に備えて食料を備蓄し、日常生活に防災を取り入れましょう。



## 味付け不要！備蓄食品で親子丼

材料（4人分） .....

- ・玉ねぎ 1/4 個
- ・卵 2 個
- ・A
- ・レトルトパックご飯 2 個
- ・焼き鳥缶 4 缶  
(1 缶 75g 程)
- ・三つ葉 適量
- ・フリーズドライスープ 2 個
- ・水 スープに記載の量



- 【1】玉ねぎを千切りにする。
- 【2】フライパンに1、Aを入れ、玉ねぎに火が通るよう全体をかき混ぜながら煮る。
- 【3】火が通ったら溶き卵を加え、半熟状になったら火を止める。
- 【4】温めたご飯の上に3を乗せ、三つ葉を盛り付ける。

☆市ホームページでは、さらに詳しい作り方や他のレシピも紹介しています。

## 福澤諭吉エピソード その3

宇佐市長 是永修治

明治5（1872）年、諭吉は『学問のすすめ』初編を刊行します。これは中津市学校開設にあたり、中津の若者のために書いたもので全17編、300万部を超える大ベストセラーとなりました。ちょうど学制が發布され、学問教育をすすめる趣意

書として読まれた背景があるとはいえ、当時の日本の人口が約3000万人だったことを考えると、驚異的な数字と言わざるを得ません。

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」。有名な『学問のすすめ』の冒頭です。どの人も等しく人間の尊厳と価値をもって生まれるという意味です。しかし、諭吉は言います。「賢い人間と愚かな人間がいる、貧乏な者と金持ちがいる、身分の高い人と低い人もいる」と。そして「その有様は天と地ほど

も違って見えるように見えるのは何故か？」それは「学問をやるかしないかで決まる」と言うのです。諭吉の言う学問とは日々の生活に役立つ実学（読み書きなど）のことです。だから「学問をすすめ」たのです。

明治34（1901）年、66歳で諭吉は永眠します。ちょうど江戸時代と明治時代半々の生涯でした。混乱期にあった幕末から明治時代、日本の近代化が進んだのは、諭吉が唱えた西洋の文明や知識を積極的に取り入れた結果といえます。私たちが慣れ親しんだ一万円札は姿を変えますが、その功績は永遠に光り輝くものと確信しています。



福澤諭吉翁 肖像

画像提供／慶應義塾福澤研究センター

## 記憶をつなぐ

平和ミュージアム（仮称）開館に向けて  
kioku wo tsunagu

このコーナーでは、戦後75年以上経って体験者の声が薄れゆく中、戦争の実像を伝えるためにこれまでで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

## 71 手動式サイレン

携帯用の小型軽量サイレンで長さ約30cm、周りの人たちに敵機の来襲などの危険を知らせ、注意や退避を促すためのものです。電源を使わずに使用でき、後部のハンドルを手で回すとサイレン音が鳴り響くようになっています。持ち手は開閉式で、机の上に置いて使用したり、持ち手を豊んで手で持ったりして使用されていました。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎27-8200）